

令和3年度事業報告書

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

公益財団法人 海原会

令和3年度事業報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

海原会は、その前身である「予科練の碑保存顕彰会」が昭和42年5月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和53年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も500名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっているのは遺憾ながら否めない現実であります。令和3年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊顕彰活動に従事するかたわら、昨年度に引き続き会員の募集にも力を入れて参りました。特に若年層に焦点をあて、ネットワーク海原会を立ち上げるなど若者の入会を促進してきましたが、退会者数を補うまでにはその成果が得られておりません。次年度以降、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

また、本年度は中国本土に発生源をもつ新型コロナウイルスの感染拡大のために、参加予定の多くの行事が中止となり、慰霊顕彰事業のうち自衛隊を始めとする友誼団体等との人的交流促進と連携をはかることができませんでした。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、前述のように厳しい環境下ではありますが、令和3年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」における「予科練戦没者慰霊祭」であります。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために出された非常事態宣言に対応するために、規模を縮小して開催しました。

また、「予科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われる予定であった慰霊祭も、殆んど中止もしくは規模縮小となり本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰の成果を十分に果たすことはできませんでした。

その状況は以下に記述するとおりであります。

1 慰霊事業

(1) 第54回予科練戦没者慰霊祭

コロナウイルス感染拡大防止の自粛要請下での慰霊祭であったために、慰霊祭の規模を縮小し出席者を海原会役員と武器学校長をはじめとする各団体の代表者に限定する形で開催しました。

初夏の陽気を思わせる五月晴のもと、参加者の心のこもった慰霊祭を挙げることができました。

ア 第54回予科練戦没者慰霊式典

(ア) 日 時 : 令和3年5月29日(土) 午前11時から

(イ) 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」

(ウ) 内 容

a 第54回予科練戦没者慰霊式典

式典では、小林会長が参加者を代表して祭文を奉読した後甲飛喇叭隊が奏でる「國の鎮め」に併せて黙祷を実施した後参加者全員が二人像に献花を行いました。

b 直 会

参加者に弁当を配布して、屋外会場において会食を実施しました。

c 式典参加者

(a) 海原会役員等全員（18名）が参加しました。

(b) ご遺族代表として、乙飛6期 故 小板橋博司海軍中尉の大甥 五井秀之氏が出席し、挨拶をいただきました。

(c) 陸上自衛隊武器学校長他主要幹部自衛官6名の出席をいただきました。

(d) 阿見町町長、阿見町町議会議長、阿見町教育長、予科練平和記念館長の出席をいただきました。

(e) ご遺族及び予科練同窓生を始めとする会員等に対して玉串を募集し、協賛いただいた158名の芳名録を慰霊碑に奉奠しました。芳名録は第55回慰霊祭までの間雄翔館に展示することとしました。

d 協力団体等

陸上自衛隊武器学校 : 慰霊祭会場の設置及び椅子等備品の提供

甲飛喇叭隊 : 式典時の慰霊演奏

予科練平和記念館 : (1) 同館駐車場の利用

(2) 予科練平和記念館の無料開放

e 慰霊祭動画の編集と DVD の贈呈

慰霊祭の様子を撮影した動画を編集して、玉串料を奉納していただいた協力者全員に贈呈しました。

イ 特別写真展

(ア) 期 間 : 令和3年4月20日(火)～11月30日(日)

コロナの影響による自粛要請のために雄翔館が臨時閉館となったので、期間を11月30日まで延期しました。

(イ) 場 所 : 「雄翔館」内 特別写真展会場

(ウ) 展示内容

a テーマ 「雄翔園の四季」

b 写真提供 陸上自衛隊武器学校 広報援護班 皆木義時 氏

(エ) 協力

予科練平和記念館 : 展示用ボードの借用

陸上自衛隊武器学校 : 写真展会場の提供

(2) 全国各地で举行された慰霊祭等への参加

本年度予定されていたほとんどの慰霊行事等が、中止もしくは規模を縮小しての開催を余儀なくされました。

令和3年	4月	21日	靖国神社春季例大祭 於：靖国神社 規模を縮小し開催された(参拝ご遠慮)
	4月	22日	国分基地特攻隊員戦没者慰霊祭 規模を縮小し開催された。
	5月	9日	第55回特攻殉国の碑慰霊祭 規模を縮小して実施された。
	6月	19日	第48回静岡空襲日米合同慰霊祭 於：静岡市賤機山 規模を縮小して開催され、菅野理事長が出席した。
	7月	10日	大東亜戦争全戦没者慰霊祭 於：靖国神社 コロナ禍のため規模を縮小し開催された。 平野事務局長が出席した。
	7月	16日	東郷神社「海の宮」秋祭 於：東郷神社 コロナウイルス感染拡大防止のために規模を縮小して開催したため、海原会からは参加なし。
	8月	29日	第8回戦没学徒慰霊祭 於：広島護国神社 規模を縮小して開催、玉串を奉納した

- 9月 23日 特攻平和観音年次法要
於：世田谷観音寺内特攻観音堂
規模を縮小して開催したため、海原会から玉串料（供花）を奉納した。
- 9月 26日 つくば海軍航空隊慰霊祭
規模を縮小して開催された。平野事務局長及び行方参与が出席した。
- 10月 17日 串良航空基地慰霊祭
コロナウイルス感染拡大防止のために規模を縮小して開催したため、海原会からは参加なし。
- 10月 23日 東郷神社 新嘗祭
於：東郷神社
コロナウイルス感染拡大防止のために規模を縮小して開催したため、海原会からは参加なし。
- 12月 12日 陸上自衛隊武器学校開設記念行事
於：陸上自衛隊土浦駐屯地
規模を縮小して開催、安井副理事長が出席した。
- 10月 海上自衛隊下総航空基地開設61周年記念行事
於：海上自衛隊下総航空基地
コロナウイルスの感染拡大のために中止になった。
- 令和4年 3月 22日 東郷神社海の宮春祭
於：東郷神社
コロナウイルス感染防止のために、責任役員及び総代のみで実施
- 3月 26日 第43回特攻隊全戦没者慰霊祭
於：靖国神社
コロナウイルスの感染拡大のため規模縮小になりました。
安井副理事長と平野事務局長が参加
- 3月 海上自衛隊下総航空基地観桜会
コロナウイルス感染拡大防止のために中止

(3) 慰霊環境の整備

ア 雄翔園整備作業計画の策定

雄翔園整備作業計画（月間整備計画）を作成して、整備実施の根拠としま

した。

イ 雄翔園整備作業の実施

本年度は、計56回の整備を実施しました。参加した作業人員は延べ59人です。

(4) 雄翔園及び雄翔館見学者実績

令和3年度は、4,342名の方が雄翔園及び雄翔館を見学しました。

本年度はコロナウイルス感染拡大防止のために長期間雄翔館が閉館となったために見学者の数は激減しました。短期間ではありましたが、開館中に見学者から頂戴した見学所見は、機関誌「豫科練」に掲載しました。掲載させていただいた見学者には当該機関誌を贈呈させていただきました。

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を着実に推進しています。令和3年度は、ご遺族等から提供いただいた10点の遺品等を整理保管いたしました。

イ 海原会所蔵品等の整備

(ア) 所蔵庫に保管している遺品等の整備

本年度は、135回の整備作業を実施しました。この間延べで192名の方が整備に協力をしていただきました。

実施した作業の内容は以下の通りです。

- a 遺書・遺品等の現況確認（台帳と現品の照合作業）
- b 未処置の遺品等の登録及び収納作業
- c 保管庫の整理作業、不用品の処分など

(イ) 事務所移転に伴う事務局保管資料等の整理

a 事務局保管資料の整理

(a) 図書目録の作成

事務局に保管している図書類213冊の目録を作成し、検索を容易にした。

(b) 映像記録目録の作成

事務局に保管しているDVD等の映像記録158本の目録を作成し、検索を容易にした。

(c) 名簿目録の作成

事務局に保管している、予科練関連の名簿140冊の目録を作成した。次年度も引き続き名簿の整理を実施する。

(2) 遺族支援調査

ア ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓蒙と当会への入会の促進を図ってきました。本年度は新たに2名の御遺族を特定することができ2名の方が入会していただきました。

イ 本年度は特に、祖父や父親が元生存予科練であったという方からの連絡や入会の問い合わせが増加しました。

(3) 海原会会員の入退会状況

本年度は、10名の方が退会され新たに14名の方が入会されました。年度末現在における会員数は、454名です。

(4) 陸上自衛隊との連携

本年度はコロナウイルスの影響で予科練戦没者慰霊祭が規模を縮小して開催されました。あるいは駐屯地の観桜会や開設記念行事が軒並み中止となったために、例年の様な連携の維持ができませんでした。そこで、本年度は慰霊顕彰環境整備に重点を置いた連携の強化を図りました。

ア 雄翔園管理に伴う資器材の提供

陸上自衛隊武器学校が実施する雄翔園への入園者管理における、隊員の勤務環境を改善するために、衛所に設置する空調機を寄付した。

イ 武器学校開設記念行事

令和3年12月に予定されていた陸上自衛隊土浦駐屯地開設69周年記念行事はコロナウイルス感染防止の為に規模を縮小して開催されましたが、安井副理事長、酒井副理事長、平野理事が出席しました。

ウ 施設学校音楽隊定期演奏会

令和3年2月に予定していましたが、施設学校音楽隊定期演奏会はコロナウイルスの感染拡大のために中止になりました。

エ 施設学校開設70周年記念行事

令和3年11月に予定していましたが記念行事はコロナウイルスの感染拡大防止のために規模を縮小して開催されましたので、海原会からの参加はありませんでした。

(5) 海上自衛隊との連携

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

ア 航空学生の入隊式

第73期航空学生の入隊式は、コロナウイルス感染拡大防止のために出席者を限定して開催されたために、海原会からの参加はありませんでした。

イ 海上自衛隊航空学生の雄翔館研修支援

コロナウイルス感染拡大防止のために中止となりました。

ウ 下総航空基地開設記念行事

令和3年10月に開催予定の下総基地開設62周年記念行事は、コロナウイルス感染拡大防止のために中止になりました。

エ 下総航空基地観桜会

予定していました下総航空基地観桜会は新型コロナウイルスの感染拡大のために中止になりました。

(6) 行政及び他団体等との連携

ア 予科練平和記念館運営協議会

8月23日(月)・3月22日(火)に開催され、委員として平野理事が出席しました。

イ ご遺族調査協力

予科練平和記念館からの要請により、ご遺族など2名の方の戦没予科練生に関する調査に協力しました。

II 定期刊行物発行事業

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来469号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に図るとともに、ご投稿をいただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげる施策を継続したいと思います。

1 編集会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のための非常事態宣言の発令により、編集会議の開催は中止としました。編集作業は編集委員相互に編集資料を郵送により実

施しました。また最終的な原稿の校正作業は保坂及び津島編集委員が実施いたしました。

2 機関誌の発行

計画どおり、第464号から第469号まで6回の機関紙の発行を行いました。

III 青少年育成支援事業

(1) 今年度は、新型コロナウイルスの感染により阿見町子ども会育成連合会主催の球技大会が中止となり、助成の遠慮の申し出があったので助成は行いませんでした。

(2) ネットワーク海原会の構築

20～30代の会員を中心に、令和3年3月15日に立ち上げたネットワーク海原会を活用して7回の意見交換会を開催しました。

今後このネットワークを活用した様々な活動を通じて、若者の健全な育成を促進したいと思います。

令和3年7月29日、8月26日、10月25日、12月23日

令和4年1月27日、2月28日、3月30日

IV 庶務事項

(1) 理事会開催

隔月1回の定例理事会を計画しましたが、非常事態宣言の発令にともない、役員を安全を確保するために3回の理事会開催を見送りとし、議事につきましては、みなし決議により審議を実施しました。

みなし決議をおこなった日付は以下のとおりです。

令和3年4月22日、6月17日、8月26日

通常の理事会を開催した日付は以下のとおりです。

令和3年10月14日、12月16日、令和4年2月17日

(2) 主たる事務所の移転

令和3年10月22日に、海原会の主たる事務所を、品川区大森から茨城県阿見町に移転しました。移転に伴って事務所の閉鎖式及び事務所開きを実施しました。

ア 事務所閉所式

移転に伴い退職をする事務局職員1名に対する永年勤続の表彰を行った後、安井副理事長が事務局の看板を取り外し予科練同窓の太宰副会長に手渡され半世紀に及ぶ大森事務所に幕が降ろされました。

(ア) 時期 令和3年10月14日(木) 14:00～15:00

(イ) 場所 海原会大森事務局 会議室

(ウ) 参加者 菅野理事長他役員等 8 名、予科練同窓生 4 名、顧問 2 名

イ 事務所開所式

事務所の移転完了に伴い、関係者を招聘して開所式を行いました。新生海原会の幕が上がりました。

(ア) 時期 令和 3 年 1 1 月 2 4 日 (水) 1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 3 0

(イ) 場所 海原会阿見事務局 会議室

(ウ) 参加者 安井副理事長他阿見町在任役員等 8 名、武器学校広報援護班長、予科練平和記念館長

ウ 大森事務所所在の不動産 (土地・建物) の売却

大森事務所が所在した不動産 (土地・建物) の売却を実施しました。

(3) 令和 3 年度臨時評議員会

代表理事の要請に基づき次のとおり令和 3 年度臨時評議員会を開催した。

ア 審議実施時期

令和 3 年 5 月 1 日

イ 審議事項

(ア) 大森事務所を移転する件

(イ) 海原会定款を一部改正する件

(ウ) 海原会基本財産「土地」及び「建物」を基本財産から除外する件

(エ) 海原会財団「土地」及び「建物」を処分 (売却) する件

(4) 令和 3 年度定期評議員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言の発令に伴い、評議員会開催を中止し、海原会定款第 1 9 条 (決議の省略) に基づきみなし決議により、菅野寛也代表理事が提案した以下の議題について審議を行いました。提案のとおり全評議員の賛成を得て承認されました。

ア 審議実施時期

令和 3 年 6 月 1 7 日

イ 審議事項

(ア) 令和 2 年度事業報告 (令和 2 年度収支決算)

(イ) 監査結果報告

(ウ) 令和 3 年度事業計画 (令和 3 年度収支予算)

(エ) 令和 3 年度人事について

(オ) 慰霊顕彰事業基盤整備計画の策定

(カ) 顧問の選任について

(5) 会計監査

令和3年4月22日(木) 海原会会議室において、令和3年度の評議員会の開催に先立ち、令和2年度の経費執行状況について監事1名による監査を実施し、令和2年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。

参加者

経費執行理事	(副理事長)	酒井省三 氏
	(副理事長)	安井 剛 氏
事務局長	(専務理事)	平野陽一郎氏
監査	(監事)	豊岡 昭 氏
顧問会計士	(公認会計士)	加藤久幸氏

令和3年度に公益財団法人海原会が実施した事業を以上のとおり報告する。

公益財団法人 海原会

理事長 菅野 寛也